

**ROAD TO CHAMPIONSHIP!**

**第50回 日本少年野球選手権大会愛知県中央支部予選**

**第1回**

**エスエスケイ旗争奪大会**



**SSK**



**日本少年野球連盟**

**開会式**

令和元年6月8日(土) 8:30/阿久比球場  
※雨天の場合/9:00/名港スポーツセンター練成館

**期 間**

令和元年6月8日(土)・9日(日)・15日(土)  
[予備日] 6月16日(日)

**会 場**

阿久比球場/【三州瓦】鶴弥阿久比工場グラウンド  
トヨタ健保グラウンド/毘森球場

**主 催  
協 賛**

(公財)日本少年野球連盟愛知県中央支部  
株式会社 エスエスケイ  
愛知銀行  
花王株式会社

**後 援**

(公財)日本少年野球連盟  
愛知県教育委員会

# 開 会 式

6月8日(土)

8時30分  
雨天:9時

阿久比球場  
名港スポーツセンター練成館

- 1 来賓、役員、審判員整列
- 2 選手入場
- 3 国旗、連盟旗、(株)エスエスケイ社旗掲揚
- 4 開会宣言
- 5 大会会長挨拶

- 6 来賓祝辞
- 7 来賓紹介
- 8 選手宣誓
- 9 始球式
- 10 選手、来賓、役員、審判員退場

# 閉 会 式

6月15日(土)

16時00分

阿久比球場

- 1 来賓、役員、審判員、監督、コーチ整列
- 2 選手整列
- 3 成績発表、表彰
- 4 大会講評
- 5 来賓挨拶

- 6 メダル授与
- 7 国旗、連盟旗、(株)エスエスケイ社旗降納
- 8 閉会宣言
- 9 選手、来賓、役員、審判員、監督、コーチ退場

中学生の部		A:阿久比球場	B:【三州瓦】鶴弥阿久比工場グラウンド	C:トヨタ健保グラウンド	D:毘森球場
6/8 (土)	開 会 式	8時30分			
	第 1 試 合	10時00分	11時00分		11時30分
	第 2 試 合	12時00分	13時00分		13時30分
6/9 (日)	第 1 試 合	10時00分		10時00分	
	第 2 試 合	12時00分		12時00分	
6/15 (土)	準決勝第1試合	9時00分			
	準決勝第2試合	11時00分			
	決 勝	13時00分			
	閉 会 式	16時00分			

## 会場 QRコード 一覧



A:阿久比球場



B:【三州瓦】鶴弥阿久比工場グラウンド



C:トヨタ健保グラウンド



D:毘森球場

夢に向かって元気、勇気、やる気

# 第1回エスエスケイ旗争奪大会役員名簿

## 《大会会長》

愛知県中央支部支部長 深谷 博之

## 《大会副会長》

(株)エスエスケイ  
名古屋支店支店長 伊藤 太志

(株)エスエスケイ  
名古屋支店 ベースボール  
エリアスタッフ課長 石井 敏裕

## 《大会運営委員長》

中央支部企画運営部長 山口 護

## 《大会運営副委員長》

中央支部行事委員長 鳥居 剛

中央支部企画運営副部長 神谷 貴雄

中央支部行事副委員長 三河 一輝

## 《大会運営委員》

愛知ボーイズ代表 服部 省三

愛知知多ボーイズ代表 濱野 晃一

愛知知立ボーイズ代表 土屋 尚史

愛知港ボーイズ代表 小河 徳和

中京ボーイズ代表 小倉 亘

東海ボーイズ代表 丸山 晋弘

名古屋ボーイズ代表 田中 秀明

名古屋中央ボーイズ代表 浜田 朗雅

愛知セントレアガールズ代表 阿部 充則

## 《大会顧問》

日本少年野球連盟会長 藤田 英輝

日本少年野球連盟専務理事 惣田 敏和

日本少年野球連盟理事 堀内 健

## 《大会参与》

愛知県中央支部参与 田上 駿

// 白石 勝一

## 《大会事務局長》

愛知県中央支部事務局長 松尾 勝

## 《大会副事務局長》

愛知県中央支部副事務局長 古市 美佐男

## 《大会広報委員長》

愛知県中央支部広報委員長 杉浦 真一

## 《大会会計部長》

愛知県中央支部会計部長 東 亜行

## 《大会会計副部長》

愛知県中央支部会計副部長 坂野 晃嗣

## 《大会審査指導部長》

中央支部審査指導部長 田畑 良一

## 《大会審査指導副部長》

中央支部審査指導副部長 千田 知弘

## 《大会審判長》

愛知県中央支部審判長 鶴見 淳

## 《大会副審判長》

愛知県中央支部副審判長 那須 正敬

《大会審判員》 支部審判員諸氏

**第50回日本少年野球選手権大会支部予選・第1回エスエスケイ旗争奪大会**

1 日 目 2019年6月8日(土)

A 球場 ◎ 阿久比球場  
 B 球場 【三州瓦】鶴弥阿久比工場グラウンド  
 D 球場 毘森球場

東海ボーイズ  
 名古屋緑ボーイズ  
 東名古屋ボーイズ

開会式 : 阿久比球場 8:30

雨天時 : 名港スポーツセンター  
 練成館 9時

2 日 目 2019年6月9日(日)

A 球場 ◎ 阿久比球場  
 C 球場 トヨタ健保グラウンド

東海ボーイズ  
 東名古屋ボーイズ

3 日 目 2019年6月15日(土)

A 球場 ◎ 阿久比球場

東海ボーイズ

予 備 日 2019年6月16日(日)

球場

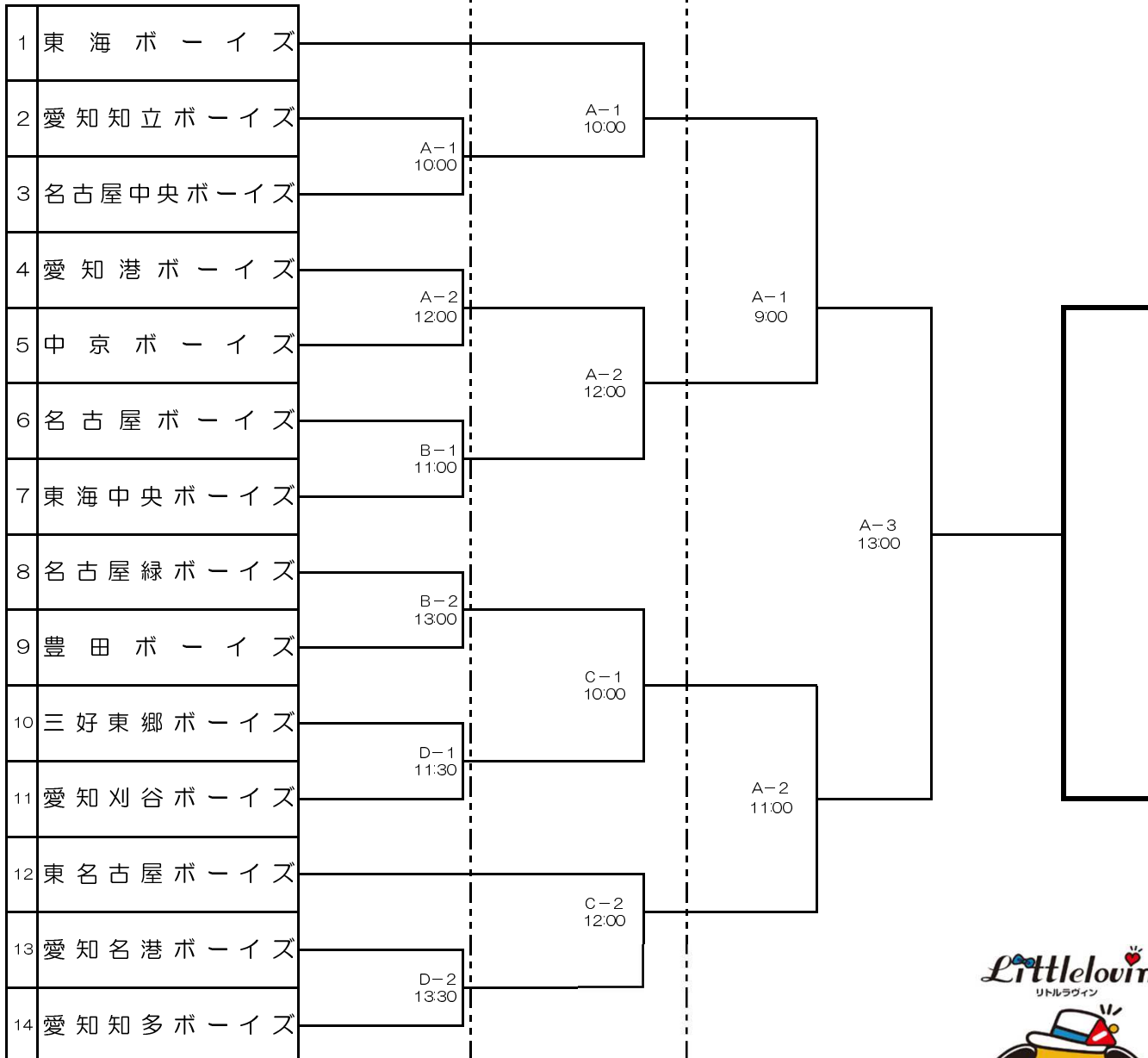
中学生の部

支部

1日目

2日目

3日目



Littlelovin  
 リトルラヴィン



あい、ふれあい、きずきあい

愛知銀行

## 「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備 考
投手A	7	3	休 休	4	6	予備日	二日目は上限3イニングまで、三日目は投手・捕手として出場できない。五日目の上限は6イニングまで投球できる。
投手B	2	3	1 休	休	7	予備日	3日間連続で投球した為、三日目第2試合目と四日目は投手、捕手として出場できない。
投手C	4	2	休 休	3	7	予備日	三日目は一日目、二日目で合計5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。四日目、五日目は2日間で10イニングまで投球できる。
投手D	7	0	3 4	休	7	予備日	二日目登板なし、三日目のダブルヘッダーで両試合に登板した為、四日目は投手・手として出場できない。
投手E	2	3	0 7	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手F	0	3	2 5	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が10イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手G	0	2	3 0	7	休	予備日	二日目から3日間連続して登板している為、5日目は投手、捕手として出場できない。
投手H	7	雨天中止	7	3 休	休	7	四日目第2試合と五日目は三日目と四日目の連続する2日間で10イニング投球している為、投手・捕手として出場できない。
投手I	2	3	雨天中止	2 0	3	7	六日目は五日目との合計が10イニングまで投球することができる。

※数字は登板イニング数。「休」は投手、捕手として登板できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

# 大会規定

- 1・1チームの登録選手は中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・登録選手および登録されたチーム責任者（代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者）、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）及び審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
- 5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
- 6・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 7・監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 8・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 10・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 11・試合方法など
  - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(a)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
  - (2) 4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
  - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
- 12・(1) 投手は、1日7イニング以内、連続する2日間で10イニング以内とする。
  - (2) ダブルヘッダーでの連投を認めるが、ダブルヘッダーに登板した投手、連続する2日間で合計5イニングを超えた投手（5イニングは可）及び3日間連続で登板した投手は、翌日に投手または捕手として試合に出場することはできない。
  - (3) 例えば、1試合目で5回投げた場合には、2回投げる事ができる。ただし端数回数(0/3回・1/3回・2/3回)は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。
- 13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。（選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。）
  - (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
  - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
  - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 14・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 16・監督またはコーチが投手に指示などをするときには、マウンドのところで行うこと。（ベンチからは駆け足で）
- 17・2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

- 19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

## 参考

### 野球規則 7.02(a)

4.12(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

**【注】**我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

### 《タイブレーク実施細則》

#### (1) 特別規則

- (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
  - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
  - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および走者は認められる。

# 東海ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	丸 山 晋 弘 杉 浦 浩 天 野 修 杉 浦 智 一 之	
背番号	氏 名	学年
主将 66	平 雅 大	3年
1	森 千 羽	3年
2	毛 受	3年
3	藤 井 克	3年
5	中 村 永	3年
6	中 藤 田 悠	2年
7	市 橋 昂	3年
8	市 溝 口 琢	3年
11	中 野 夏	3年
13	樋 江 井 皓	3年
14	小 倉 泰	3年
21	小 蟹 江 航	3年
23	石 岡 寛	3年
27	河 合 晴	2年
29	河 安 井 謙	3年
31	安 瀬 戸 勝	3年
32	片 山 昂	3年
33	石 川 拓	3年
36	後 藤 優	3年
37	加 藤 直	2年
39	小 谷 昊	2年
44	小 村 明	2年
48	石 原 大	3年
56	山 田 空	2年
80	江 崎 直 人	2年

# 愛知知立ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	土 屋 尚 史 西 川 弘 樹 近 藤 秀 和	
背番号	氏 名	学年
主将 3	彦 坂 翔 平	3年
0	松 本 新 大	2年
1	杉 浦 邑 磨	3年
2	服 部 海 斗	2年
5	猪 原 樹	3年
6	長 谷 川 陽	3年
7	天 沼 拓	2年
8	岡 田 泰	3年
10	又 吉 仁	2年
15	大 井 斗	2年
17	大 滝 本 幹	3年
18	細 川 空	2年
30	加 藤 大 翔	3年
31	三 輪 敦 也	2年
33	鎌 桑 稜 一	2年
34	松 本 空	3年
35	遠 藤 陽	2年
36	田 中 僚	2年
39	山 口 純	3年
55	石 川 葉	2年

# 名古屋中央ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	浜 田 朗 雅 角 将 人 木 下 篤 史 富 永 克 彦	
背番号	氏 名	学年
主将 9	浅 井 快 生	2年
0	加 藤 漸	2年
1	中 野 颯 斗	2年
2	角 大 和	2年
3	丹 羽 達 也	2年
4	植 村 俊 介	2年
5	井 上 広 太	2年
6	樋 田 寛 也	2年
7	竹 島 海 翔	2年
8	鈴 木 悠 斗	2年
10	日 野 碧 也	2年
11	高 橋 福 大	2年
12	二 之 湯 慶 亮	1年
14	渡 辺 眺 成	1年
15	渡 邊 映 王	2年
16	岡 田 蹴 斗	2年
17	木 村 幸 浩	2年
18	渡 辺 慧	2年
19	矢 島 弘 陽	2年
21	落 合 大 晴	1年
23	梶 村 勇 太	2年
25	小 野 澤 航 洋	1年
39	長 野 晴 太	1年
51	富 永 隆 文	2年
55	松 本 純 一 郎	2年

# 愛知港ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	小 河 德 和 堀 田 将 司 大 須 賀 辰 郎 河 野 直 子	
背番号	氏 名	学年
主将 6	安 井 香 誉	3年
1	大 野 統 亜	3年
2	石 原 遠 育	3年
3	前 野 将 人	3年
4	寺 西 千 希	3年
5	塚 本 耀 哉	3年
7	二 村 佑	3年
8	齋 藤 陽 飛	3年
9	山 口 遥 叶	3年
10	持 塚 大 和	3年
11	吉 田 健 人	3年
12	井 手 雅 人	3年
13	井 久 井 雅 太	3年
18	伊 藤 吏 来	3年
20	服 部 陸 翔	3年
33	矢 島 冬 偉	3年

夢に向かって元気、勇氣、やる気



# 中京ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	小 倉 福 長 博 大 矢 康 袴 田 克 彦	巨 幸 幸 弘 彦
背番号	氏 名	学年
主将 57	平田望侑斗	3年
1	山下健史朗	3年
3	山田大貴	2年
5	鈴木琉之介	2年
8	佐藤優翔	3年
13	後藤瑞葵	3年
15	袴田智彦	2年
16	水原京弥	3年
17	河部紗英	3年
18	袴田好彦	2年
20	羽毛田雄月	2年
21	中山朝陽	2年
22	青木琥雄	2年
23	伊藤光毅	2年
24	清水裕介	2年
25	稲葉駿	3年
26	加藤風雅	2年
28	野田峻介	2年
31	後藤匠見	2年
34	水畑陽天	2年
36	畑中伶央	2年
41	畑澁谷太	2年
55	桂晃我	2年
66	松本智希	2年
99	後藤翔生輝	2年

# 名古屋ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	田 中 秀 明 水 谷 孝 中 川 聡 中 山 精 二	
背番号	氏 名	学年
主将 18	山本丈太郎	3年
3	濱田隆羽	2年
7	野辺憲伸	2年
12	東爪大空	3年
13	東鈴木士温	3年
15	広瀬誠弥	3年
16	中山翔太	3年
19	中川原崎彪	2年
21	浅岡步夢	3年
22	浅松岡志	3年
23	丹羽央一	2年
27	村上陽琉	2年
39	小久保省吾	3年
51	早川竜生	2年
55	足立健太	2年
99	山塚健教弘	2年

# 東海中央ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	松 尾 勝 森 健 郎 阪 野 治 上 林 靖 尚	
背番号	氏 名	学年
主将 18	赤山泰斗	3年
0	吉田遥哉	3年
1	南幸太郎	3年
2	高橋幸迦	3年
3	川尻大斗	3年
5	内山下航汰	3年
6	坂本育夢	3年
7	山本紘登	3年
9	浅井桜介	3年
10	森上駿太郎	3年
13	森安颯真	3年
14	上林亮太	3年
15	八木良樹	3年
20	三浦心空	3年
21	森岡晃大	3年
22	森大空	3年
23	山田大牙	3年
25	岩戸幹太	3年
33	兜森寛人	3年
36	飯尾晴陽	3年
37	伊藤藤綺	3年
38	野上純慎	3年
47	筏伸之助	3年
51	近藤碧海	3年
55	楠本碧暁	3年

# 名古屋緑ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	坂 野 晃 嗣 内 藤 清 貴 玉 江 秀 人 七 反 田 剛	
背番号	氏 名	学年
主将 6	加藤匠翔	3年
0	竹村悠汰	2年
1	平松央輝	3年
2	七反田啓司	3年
3	久野弘馬	3年
5	酒井梧朗	3年
7	眞邊麗生	2年
8	佐尾優虎	3年
9	山本陽生	2年
10	山田悠貴	2年
13	池田裕次郎	2年
14	柴田迅	3年
15	横井伊吹	3年
16	豊島心咲	3年
17	野田斗磨	3年
19	田中佑京	2年
20	山本健人	3年
22	宮本一輝	3年
28	堀晴翔	3年
32	斉田祐司	3年
48	松田和真	2年
51	山下慎ノ介	3年
55	黒野颯太	2年
70	深谷颯詩	3年
88	金田朋紀	3年

夢に向かって元気、勇気、やる気

# 豊田ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	田 畑 良 一 瀬 谷 博 之 田 口 雅 基 野 村 寿 道	
背番号	氏 名	学年
主将 28	五十嵐 温人	3年
0	村田 夕都	2年
1	川北 健太	3年
3	家永 晴瑠	2年
6	加藤 翔輝	2年
7	滝本 資志	2年
9	田口 雄誠	3年
12	和田 康太郎	3年
14	古賀 悠人	2年
17	古深 日嵩	2年
23	山田 溪太	2年
24	福田 黎太	3年
26	平野 晴之	3年
27	渡邊 領大	3年
29	鈴木 木魁	3年
33	高木 佑人	3年
34	田野 凜空	2年
41	江口 昂大	2年
51	永尾 奏汰	2年
54	寺工 悠都	2年
55	藤崎 悠一	2年
56	手工 太陽	2年
66	手工 太陽	3年

# 三好東郷ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	鳥 居 剛 安 達 郷 川 原 正 揮	
背番号	氏 名	学年
主将 8	栢 工 力 輔	3年
0	杉 田 頼 信	3年
11	大 村 憲 伸	2年
15	久 松 定 世	3年
16	小 島 伶 央	3年
20	竹 島 旦 陽	3年
22	原 幸 輝	2年
26	末 永 真 大	3年
33	岡 崎 壯 之	3年
34	林 伸 之	3年
35	山 口 大 介	3年
55	山 白 川 輝	3年
77	竹 山 昂 平	3年
78	仲 川 煌 蒼	2年
81	仲 川 蒼 真	2年

# 愛知刈谷ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	神 谷 貴 雄 西 川 浩 司 村 瀬 雅 士 稻 吉 孝 則	
背番号	氏 名	学年
主将 1	神 惠 大 翔	3年
2	青 木 大 音	3年
3	岡 井 公 希	3年
4	浅 岡 龍 之 介	3年
5	稻 吉 賢 信	3年
11	坂 本 駿 介	3年
16	中 橋 陽 慶	3年
18	木 下 陽 翔	3年
19	小 笠 原 琉 靖	3年
28	猪 飼 一 斗	3年
30	佐 々 木 優 太	2年
31	長 澤 優 作	2年
32	新 美 恒 河	2年
34	神 谷 駿 太	2年
35	清 水 悠 斗	2年
36	後 藤 汰 圭	2年
39	市 川 龍 之 介	2年
40	有 泉 秀 哉	2年
44	武 田 釉 花	2年
45	大 崎 虹 晴	2年
48	吉 橋 礼 貴	2年
49	藤 元 大 和	2年
55	青 木 諤 太	2年
57	永 井 太 陽	2年
59	川 瀬 太 揮	2年

# 東名古屋ボーイズ

代 表 監 督 コ ー チ マネージャー	千 田 知 弘 伊 藤 泰 憲 松 山 哲 也 千 田 桐 也	
背番号	氏 名	学年
主将 14	板 倉 成 道	3年
0	池 端 優 真	2年
2	福 原 陽 太	3年
18	後 藤 真 之 介	3年
19	三 浦 貴 大	3年
22	水 野 佑 哉	3年
23	加 藤 有 真	3年
26	横 井 辰 哉	3年
27	内 田 晃 太	3年
28	本 部 健 太	3年
30	廣 岡 爽 真	3年
33	濱 口 翔 平	3年
34	波 多 野 憲 伸	3年
35	武 川 真 成 永	3年
36	杉 本 幸 大	3年
39	上 山 将 太	3年
40	松 村 侑 亮	3年
42	杵 渕 匠 之 助	3年
43	山 村 春 人	3年
51	横 内 雅 修	3年
52	西 村 颯 馬	3年
66	北 野 悠 翔	4年
76	加 藤 陽 太	3年
77	立 田 直 敬	3年
99	伊 藤 大 空 翔	3年

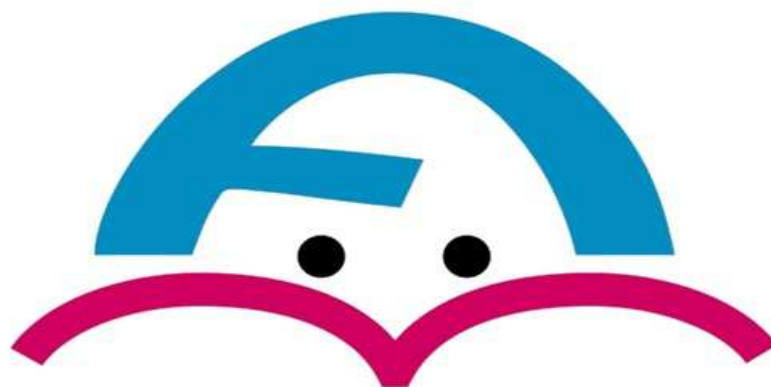
夢に向かって元気、勇気、やる気

# 愛知名港ボーイズ

代 監 コ マ ネ ー ジャ ー	表 督 チ マ ネ ー ジャ ー	東 奥 丸 奥	村 山 村	亜 貴	行 尚 史 治
背 番 号	氏 名	氏 名			学 年
12	浅田	康成	耶雲	貴	3年
0	多井	石原	幹太	史	3年
2	石中	杉山	由朗	治	3年
6	杉山	山田	由朗		2年
7	杉山	山田	由朗		3年
9	竹内	裕一	磨真		3年
10	竹松	朝名	樹河		2年
11	松朝	岡山	斗斗		3年
13	岡安	竹林	海翔		3年
15	安竹	秋葉	楓汰		3年
16	秋西	川部	空也		3年
17	20	服部	一輔		3年
20	23	酒井	駿斗		2年
25	27	日置	勇元		3年
27	30	杉浦	紀晴		3年
30	31	加藤	多斗		3年
31	34	加賀	咲拓		3年
34	39	中丸	和良		2年
39	42	福森	和空		3年
42	48	森岩	千羽		3年
48	56	岩本	晃空		2年
56	89	土井	晃空		3年

# 愛知知多ボーイズ

代 監 コ マ ネ ー ジャ ー	表 督 チ マ ネ ー ジャ ー	濱 西 尾 宇	野 城 形 藤	晃 真 嘉 禎	一 雄 崇 康
背 番 号	氏 名	氏 名			学 年
0	加藤	藤	楓	太	3年
1	内藤	龍	承	承	3年
2	佐藤	涼	真	真	3年
3	黒田	誠	真	真	3年
4	黒田	大	晴	晴	3年
5	渡部	光	崇	崇	3年
6	小野	龍	生	生	3年
7	宇藤	蒼	馬	馬	3年
9	相賀	慶	涼	涼	3年
10	平田	康	匠	匠	3年
11	都筑	幸	誠	誠	3年
14	成瀨	圭	晴	晴	3年
15	青柳	泰	悟	悟	3年
17	青野	田	平	平	3年
18	野平	之	全	全	3年
19	吉本	利	介	介	3年
20	中野	隼	紀	紀	3年
21	岩田	隼	輝	輝	3年
22	安藤	秋	波	波	3年
23	清藤	大	翔	翔	3年
27	伊水	友	陽	陽	3年
39	佐野	大	博	博	3年
51	益野	友	夢	夢	3年
70	石川	瑛	貴	貴	2年



あいちの教育

夢に向かって元気、勇気、やる気

日本少年野球 エスエスケイ旗争奪大会優勝・準優勝チーム

第 1 回  
(令和元年)

中学生の部 優勝

準優勝



お困り汚れに  
**これ1本!**

**泥**汚れが、  
面白いほど  
**白**くなる!

振り込みやすい! くるっとして  
ガラスでかき出す!

Atta  
**アタ**  
プロ石けん



proedge



株式会社 エスエスケイ お客様相談室 ☎ 0120-50-7789 (月)~(金) 午前9:30~午後5:30 (祝日を除く)

詳しくはこちら  
プロエッジスペシャルサイト

